

J R 東海 労 な ご や

2011年1月22日 No 833
JR 東海 労 名 古 屋 地 方 本 部
発行 者 : 山 田 哲 也
編 集 者 : 堀 部 肇

J R 東海 労 名 古 屋 地 本

第 1 2 回 O B 総 会 開 催

リニア中央新幹線に反対し、組合員と共に地域での取り組み強化を確認！

1月19日、10時より名古屋地本OB会は「ウインクあいち」において14名の会員と来賓に名古屋地本丹羽副委員長、蒲郡事件の加藤さん、楠関ヶ原町会議員を迎え、第12回OB総会を開催しました。



総会は戸田さんを座長に選出し昨年、亡くなられた会員に対する黙とうを行い、進められ原会長より「昨年は3名のOB会員が亡くなり淋しかったこと、そして悔しいことは盗んだとされる会社資料について事実が一切明らかにされず、不当判決と最高裁への上告が棄却されたことである。これは冤罪であり、冤罪を許してはならない。

たしろ選挙では11万3千票を獲得した。たしろかおるに対する様々な妨害があったが、わずか8カ月あまりの取り組みで勝利したことはJR総連に結集する組合員とOBの力である。

葛西会長は職場で働く者の運動を展開し会社に物を言う、JR総連、JR東海労を潰そうと考えている。葛西会長の著書「未完の国鉄改革」の中でJR総連・JR東海労が存在していると述べているのである。だから現役のJR東海労組合員に厳しい攻撃がかけられて来るのである。OB会としてさらに地域の人々と連帯し支援を拡大していくことが大切である。」と挨拶がありました。

総会では名松線反対の闘いがどの様に作られて来たのか、JR東海が進めているリニア中央新幹線に、なぜ反対するのか等が議論になりました。

役員の変更について

副会長であった西川文男（大垣）さんが亡くなられ、副会長の補充は中村博之（大垣）さんに決まりました。



総会終了後は午後からの名古屋地本旗開きに参加し、組合員との交流と2月、3月開催予定の「リニア新幹線を考える」集会への参加と連帯の拡大を目指して行くことを確認しました。